

大草大花 書「雄飛」 96×214 (cm) (磐田市所蔵)

9月定例会

市議会は、平成21年9月定例会を9月7日から10月9日までの33日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成20年度各会計決算や平成21年度一般会計補正予算など34議案について慎重に審議し、採決の結果、いずれも原案のとおり可決・認定・同意しました。

なお、一般質問は、9月15日、16日、17日、18日の4日間にわたり20名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたどりました。

主な内容

- | | | |
|--------------------------|----|-------|
| ●各会計決算(説明、討論)…………… | 2 | (ページ) |
| ●一般会計補正予算(説明)…………… | 5 | |
| ●共葬墓地条例の一部改正(説明、討論)…………… | 5 | |
| ●一般質問…………… | 6 | |
| ●審議結果一覧表、11月定例会の予定…………… | 14 | |

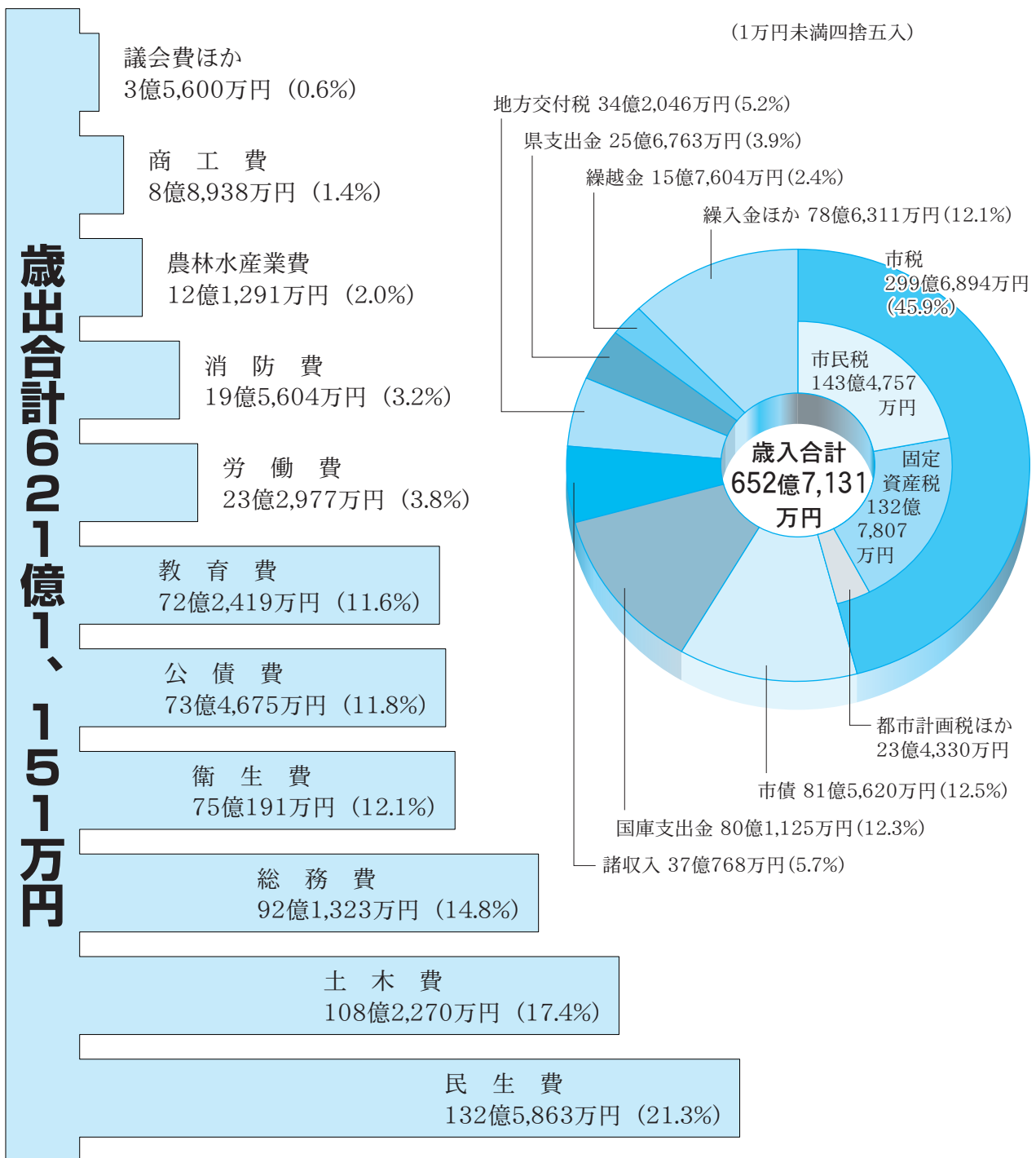
まちづくりを推進

20年度 一般会計 決算を認定

が行われたかとの声も

平成20年度 一般会計決算

(1万円未満四捨五入)





一体感を醸成する

住民目線で市政運営

一般会計決算

決算額は、歳入652億7、130万8、080円で前年度対比10・9%の増、歳出621億1、150万9、631円で11・0%の増となり、歳入歳出差し引き残額のうち7億7千万円を財政調整基金に積み立てました。

歳入の約半分を占める市税は、固定資産税が増収となったものの、景気後退に伴い、企業収益が悪化し、法人市民税が減収となった影響で1・2%の減額となりました。地方交付税は、特別交付税の合併による特例措置が終了した影響などにより9・3%の減額となりました。国庫支出金は、新ごみ処理施設整備事業や定額給付金給付事業などの推進により79・3%の増額となりました。市債は、総合健康福祉会館及び大原学校給食センターの建設が最終年度、また、新ごみ処理施設の建設が本格化したことなどにより44・4%の増額となりました。歳入全体に占める市税等自主財源の比率は、5・3ポイント低下し、60・3%となりました。

した。

歳出の主な内容は、22年度稼動に向けた新ごみ処理施設の建設推進、(仮称)第2竜愛霊園の整備、太陽光発電システムの設置補助、主要幹線道路の整備、遠州豊田パークエリア周辺土地区画整理事業、磐田駅北土地区画整理事業、いわたエコパークの整備着手、大原学校給食センターの完成、国民文化祭プレ大会の開催、久保川治水プロジェクト事業の実施、総合健康福祉会館及び竜洋東保育園の完成、農林水産業や商業に対する助成など、各種事業を実施しました。

賛成26(五・誠・新・公・市・争)、反対3(共)により認定。

会派名の表記(人数)

- 五…五和会(11)
 - 誠…誠和会(6)
 - 新…新磐田(6)
 - 共…日本共産党磐田市議団(3)
 - 公…公明党磐田(2)
 - 市…市民自治クラブ(1)
 - 争…争論(1)
- (注)議長は表決に加われません。

反対(共)

20年4月から実施された後期高齢者医療制度は、高齢者に差別医療と新たな負担を強いるもので、関連決算には賛成できない。

住民目線の市政運営・政策を

市で責任を負うべき仕事を、先に民営化ありきで職員削減と非正規雇用拡大を図っている。こうした行財政改革のやり方には賛成できない。子供の医療費助成に

ついて、前市長は聞く耳すら持とうとせず、年齢拡大の意思が全くなかった。個々の施策では市民にとってよいものもある。しかし、前市長の政治姿勢の問題、住民の目線で市政運営や政策づくりが行われてきたかという観点から判断すると、総体的には本決算に賛成できない。本決算の認定に反対する。

討論

賛成(新)

20年度は、市総合計画のもと基盤整備を優先し、市の一体感を醸成するまちづくりを推進した1年であった。歳入では、全庁体制で収

入確保、幼稚園については、正規職員比率向上を真摯に検討・努力し、2名増員したことは努力の跡がうかがえる。

市の一体感を醸成するまちづくりを推進

納対策に取り組み、滞納収納率は目標値の20%をクリアした。努力の成果であり、評価する。歳出では、主要幹線道路整備やiプラザのスタートなど、基盤整備が着々と進

ま。20年度に始まった大原学校給食センターは、11月からのアレルギー対応食など、より安心・安全な給食を提供できるようになった。以上により賛成する。

特別・企業会計15会計を認定

国民健康保険事業 特別会計決算

決算額は、歳入が146億6、319万4、409円、歳出が138億6、214万7、992円で、歳入歳出差し引き残額は8億104万6、417円となりました。このうち4億7千万円を国民健康保険給付等支準備基金に積み立て、残りの3億3、104万6、417円を翌年度に繰り越します。

保険給付費等の支払いには、国民健康保険税をはじめ、国庫支出金、一般会計繰入金等により対処しました。

賛成26（五・誠・新・公・市・争）、反対3（共）により認定。

討論

保険税の引き上げは家計に重くのしかかっている

反対（共） 国保は低所得者が多く加入している医療保険であり、払いたくても払えない

い滞納世帯がふえている。申請減免の制度はハードルが高く、利用したくても対象にならない。また、収納率向上対策で保険証がとめ置きされ、ペナルティーとして医者にかかれないう状態にしていたことは問題である。

国保税の平均8%の引き上げは家計に重くのしかかり、年金天引き制度など問題点が多くある。国保財政悪化の最大の要因は国庫負担の削減にあるとはいえず、国保税の引き上げを含む本決算には賛成できない。以上により反対する。

困難な状況が続く年度を 努力により維持・運営

賛成（公） 収納率向上のため、前市長以下幹部職員が先頭に立ち滞納先への訪問等を行い、全庁体制で取り組んだ。また、高齢者の立場になって、医療費窓口負担が2割になるのを1割のままで凍結された。出産育児一時金が38万円に引き上げられ、少子化対策や子育て支援に役立てられた。困難な状況が続く年度を、努力により維持・運営された。

今後は、急激な医療費増への対応、滞納増加に対する実情にあつた納付への導き、制度の周知や経費の削減などに努め、できる限り保険税負担を抑え、制度維持のためのさらなる努力を願う。

後期高齢者医療事業
特別会計決算



後期高齢者医療事業 特別会計決算

決算額は、歳入が12億2、275万7、759円、歳出が11億9、637万1、769円で、差し引き残額2、638万5、990円は、翌年度に繰り越します。

後期高齢者医療広域連合納付金等の支払いには、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金等により対処しました。

賛成25（五・誠・新・公・市）、反対4（共・争）により認定。

討論

保険料が上がる仕組みなど
問題の多い制度

反対（共） この制度は原則75歳以上の高齢者を他の医療保険から切り離し、全員から保険料を取り立て、医療内容を抑制することをねらった医療制度である。2年ごとに後期高齢者の人口、かかった医療費にに応じて天井知らずに保険料が上がる仕組みになっている。若い世代にも新たな負担がふえ、運営する広域連合には、市民の声が届きにくくなっている。

当局は、定着してきていると見解を示しているが、このまま制度が継続すれば、来年4月の保険料の改定や軽減策の廃止が待っている。問題点の多い制度には賛成できない。以上により反対する。

保険の永続性を担保する
意義ある制度

賛成（五） この制度は、高齢者医療保険の永続性を担保するため創設された制度である。特別徴収制度により、保険料の現年度分の収納率はほぼ

百%となり、確実にコストの少ない保険料収納が可能となった。市の会計も約1億円の軽減となった。広域連合で事業を行う体制は、若年層の多い都市部と高齢者の多い郡部が連合することで、負担と給付の平準化などが可能になったものである。

現制度は、高齢者医療保険の永続性が担保されており、意義ある制度であると考えられる。今回の決算は適正に処理されており、認定すべきと考えられる。以上により賛成する。

介護保険事業 特別会計決算

決算額は、歳入が79億2、962万9、671円、歳出が78億4、761万6、745円となり、20年度末の第1号被保険者数は、3万5、883人、世帯数は2万4、711世帯でした。

介護サービス受給者は、在宅サービス及び地域密着型サービスあわせて月平均2、876人、施設サービスは月平均1、158人の利用でした。

全会一致により認定。



特別会計

(1万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業会計	146億6,319万円	138億6,215万円
老人保健会計	11億7,096万円	11億1,374万円
後期高齢者医療事業会計	12億2,276万円	11億9,637万円
介護保険事業会計	79億2,963万円	78億4,762万円
公共下水道事業会計	115億3,496万円	114億3,943万円
駐車場事業会計	4,216万円	3,999万円
その他の特別会計(注)	5億5,274万円	2億7,993万円

(注) その他の特別会計には、公平委員会、土地取得、農業集落排水、4財産区の各特別会計の決算合計額を記載しています。

企業会計

(1万円未満四捨五入)

会計名		収入	支出
水道事業会計	収益的	25億3,533万円	24億3,176万円
	資本的	3億2,886万円	17億4,458万円
病院事業会計	収益的	107億2,492万円	121億5,243万円
	資本的	11億4,438万円	16億6,065万円

一般会計補正予算(第3号)を可決

今回の補正は、歳入歳出予算から2億2,719万1千円を減額し、総額を606億7,754万5千円とするものです。

主な内容は、①市長交際費

②磐田駅北口広場整備事業、遠江国分寺資料館実施設計委託料の減額、③特別会計の決算に伴う繰出金の増額等です。

共葬墓地条例の一部改正を可決

本条例は、駒場地区に(仮称)第2竜愛霊園として整備している霊園の名称、位置及び使用料等を加えるものです。内容は、名称を磐田市駒場霊園とし、使用料を1霊地30万円と規定するものです。

この条例の施行日は、22年1月4日です。

賛成26(五・誠・新・公・市・争)、反対3(共)により可決。

討論

既設より高額な使用料
今後の指標になるおそれ

反対(共) 既設の竜愛霊園と新霊園は、距離が離れていないが、使用料が1・5倍の開きがあり、市民に説明がで

使用料算定方法
負担の均衡を図るもの

賛成(公) 使用料は、工事総額を全体区画数で割った金額をそのまま使用料にするのではなく、負担軽減に努め、第2期工事分も同額となるよう設定されたもので承認できる。現在の使用料算定方法は、市民への公平な事業展開と、受益者負担の均衡を図るものとして承認できる。
以上により賛成する。

— 市政を問う — 一般質問

住んでよかつたまちづくり／庁内分権 歳入見通しと事業への影響

誠和会 鈴木啓文 議員

まちづくり

【質問】 まちなか再生策として、さらばーと磐田への来訪者のまちなか誘導策と磐田駅北口広場整備事業の今後の展望は。

【答弁】 回遊策であるレンタサイクルの実績から、回遊対策にはまだ工夫が必要である。北口広場は、着手時期を延伸するが、23年度から取り組む。

【質問】 消防救急体制広域化の考えと市立総合病院のさらなる充実策は。

【答弁】 消防は、中遠による広域化を表明したが、さらなる検証を加え最良の選択をした。病院は、がん診療機能の充実に努めていきたい。

【質問】 広域エリアの中での土地利用計画の策定等の考えは。

【答弁】 線引き制度は本市に昭和51年に導入されたが、袋井市への導入には及ばなかった経緯がある。線引きの境界周

点で具体的施策はないが地域住民による保全活動を支援していく。

庁内分権

【質問】 庁内分権の取り組みとして、部での専門職員の育成や人事権等の付与の考えは。

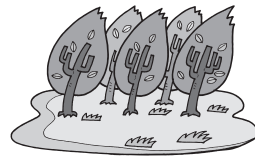
【答弁】 職員に専門性を持たせよう人事管理に努めている。本年度から、部局長による部

局内の兼務発令を可能とした。

歳入見通し

【質問】 今年度の歳入見通しと事業への影響は。

【答弁】 歳入全体で約6億4千万円の減額見込みである。厳しい財政状況等を考慮し、補正予算で磐田駅北口広場整備事業などを減額する。



磐田市の将来像のために 安心・安全のまちづくり推進

市民自治クラブ 玉田文江 議員

市の将来像

【質問】 来年度も緊縮財政が予想されるが、市長の描く市の将来像の明示を。

【答弁】 景気後退により大幅な歳出構造の転換が必要だが、生活に密着したサービスは財源確保に努め、市民生活に影響が出ないようにしたい。住

者の増加につながるかと考える。

安心・安全

【質問】 広い視野からの委託料の見直しが必要ではないか。

【答弁】 経費節減に努め、適正妥当な額とするなど、厳しく精査するよう指示している。

【質問】 防災訓練に障害のある方や外国籍市民の参加促進を。

【答弁】 坂上町の取り組みをモデルとし、地域住民にも理解をいたしながら、障害者の参加促進を図りたい。外国人

にはチラシを配布し参加を要請しているが、言葉の壁等が課題となり、参加の増加にはつながっていない。

【質問】 外国籍市民・児童への

高齢者の事故対策／東海地震に備えて 天竜川河川敷利用

誠和会 川村孝好 議員

事故対策

【質問】 高齢などを理由に運転免許証を返納した人に、期間限定の自主運行バス無料バスカード発行の考えは。

【答弁】 バス料金の減免制度は返納者の特典として有効と考えるが、地域公共交通について調査研究段階であるので、総合的に検討していきたい。

市の対応についての見解は。

地震対策

【答弁】 日本語の習得が最も重要である

と認識している。今後は、語学教育を中心とした教育機会の確保に努めていく。

【質問】 障害者福祉として、副音声付き映画の上映をしては。

【答弁】 現時点での上映映画はアニメが中心だが、アニメは画面展開が速い等の理由で難しく、現在副音声を入れることは考えていない。財政に余力が出たら、障害者福祉に今

までよりも予算を配分したい。

地震対策

【質問】 8月11日の各地域の被災状況の把握、連絡はどうだったか。また、被災世帯からの廃棄物処理の対応は。

【答弁】 自治会や商工会議所等の関係団体への電話による被害調査や、市建設部、各支所などの現地調査により被害状況を把握した。被災家屋の瓦



れき類の処理は、罹災証明書が発行されているものは、最終処分場における処理手数料を免除している。

【質問】 今回の地震を教訓に検証した東海地震対策の考えは。

【答弁】 総合防災訓練にて、地震当日の対策の検証等と検討を行い、迅速な情報提供等が課題に挙げられた。貴重な教訓として東海地震に備えたい。



地震対策マニュアル

【質問】 木造住宅耐震補強工事の本年度の助成金が、前年度

からの申請待ちで、なくなつたと聞かどう考えるか。

【答弁】 木造住宅の耐震化の必要性は認識しており、多くの方が補助金を利用できるように、補助金の引き下げや所得制限を設けるなど、制度の見直しを検討する。

天竜川河川敷

【質問】 河川敷整備等が必要と考えるがどうか。

【答弁】 居楽町と源平新田の坂路について、自動車を利用しやすいように国で整備する計画である。また国の事業として天竜川サイクリングロードが計画されている。

暮らしよいい安心安全のまちづくり
磐田駅周辺まちづくり／福田漁港周辺整備

新磐田 寺田辰蔵 議員

安心安全

【質問】 8月11日の地震は震度5弱を観測したが、仿僧川の耐震水門が閉門されなかった原因と対応、今後の対策は。

【答弁】 仿僧川水門は、3台の加速度計のうち2台が250ガル以上を感知すると自動閉鎖する。今回は、最大117ガルであった。本市の要請で、県が7時5分に水門を閉鎖し

た。反省点の一つとして、検証中と御理解いただきたい。

磐田駅周辺

【質問】 北口広場整備事業の2年先送りの決定に至った経過及び、財政への効果、影響は。

【答弁】 経済不況により、すべての事業見直しを行い、本事業は新規事業でもあることから先送りした。影響は、21年度の事業費で2億2、148

万2千円、一般財源で4、648万2千円の減額である。

【質問】 先送りによる影響と新たな支出発生の見込みは。

【答弁】 特段の影響はない。新たな補償が発生することもないが、物価変動により多少の増減はあることも考えられる。

漁港周辺

【質問】 漁港周辺は、大化けする可能性があると思っている。

市長の政治姿勢と取り組み
学校教育全般／スポーツの振興

誠和会 増田暢之 議員

市長の政治姿勢

【質問】 財政力、福祉、学校教育の現状認識と今後の展望は。

【答弁】 厳しい財政状況が続くが、安心・安全施策にはできる限り対応したい。介護施設増設は計画どおり進め、在宅介護手当は来年度の実施を検討している。教育は先進的な取り組みをしており、今後も確かな施策を期待している。

【質問】 南部救急医療機関の現状と今後の対応は。

【答弁】 市立総合病院や医師会との協力体制などが不可欠である。整備のあり方について

整備事業化に向けて、最大の課題は何か。

【答弁】 地域の盛り上がりと合意形成などが重要である。また、土地利用の規制等もあり、厳しい事業であることは御理解いただきたい。何か仕掛けをしたいという思いでいるので、時間をいただきたい。

【質問】 これまでの計画や地元要望は、今後どうするのか。

【答弁】 本市や袋井市、遠州漁協等で構成されている幹事会で、周辺のあり方や活性化策なども含め検討、調整し、必要に応じてふれあい福田漁港建設促進協議会を開催する。



福田漁港

実現可能な選択を探りたい。

【質問】 豊田町駅周辺の都市計画整備と交番設置の考えは。

【答弁】 駅周辺の市街化区域拡大には、土地画整理事業構想の実現が必要であり、機運の盛り上がりを期待したい。駅前交番の新設は警察署から困難と回答があり、市として巡視増強等を要請していく。

学校教育

【質問】 新学習指導要領の展開の考え方は。

【答弁】 生きる力をはぐくむ基本理念を



スポーツマスターズ静岡大会

【質問】 スポーツ振興策の今後の見通しは。

【答弁】 さまざまな競技種目の大会などを機会あるごとに招致していきたい。施設の整備や使用料の減免などは、今後策定する施設整備計画で方向性を示したい。

【質問】 学校・地域・保護者の3者連携についての見解は。

【答弁】 子供が健やかに育つには、身近な大人の積極的なかかわりが重要である。学校と家庭や地域社会が力を合わせ取り組むようお願いしたい。

スポーツ振興